



2019年度 国際キャリア実習 報告会

国際学部国際学科3年
菊池蓮、須藤晴香、本多恵

実習概要

- ▶ 実習先：セワランカ財団（スリランカ）
- ▶ 実習期間2020年2月28日～3月14日
- ▶ 実習内容

セワランカ財団が活動を行っているスリランカ中部茶園地域における課外活動事業の記録・授業の実施。および当該地域のコミュニティ状況の調査・把握。

実習スケジュール

- ▶ 1～2月中旬
渡航準備、実習計画の策定、調査・授業の事前準備。
- ▶ 2月下旬
渡航、現地での実習を開始。
- ▶ 3月上旬
小学校における課外活動に参加。コミュニティの調査・課外活動内で授業を実施。
- ▶ 3月中旬
帰国（コロナウイルス感染症拡大に伴う早期帰国）
- ▶ 3月下旬
活動報告書および現地調査報告書などの成果物を提出。

前準備

○書類関係

- ・活動計画
- ・誓約書（日本語、英語）
- ・履修届 ・ 渡航届
- ・母子手帳のコピー(予防接種)
※受けていないものは出発までに行う

○現地に滞在する上で準備したもの

- ・ビザの取得 ・ 航空券の手配
- ・虫よけ ・ 薬（酔い止め、胃腸薬など）
- ・帽子 ・ 長袖のシャツまたは上着
- ・ミニ財布 ・ 洗濯関係（洗剤、ハンガーなど）
- ・パソコンやA4サイズなどが入るバック（リュックは×）
- ・スリッパ ・ ティッシュ（水に溶けるタイプ）
- ・トイレットペーパー ・ ウェットティッシュ
- ・Wi-Fi ・ スマホの手続き（SIMを変えられように）
- ・活動で使うもの、調査リストの準備
- ・簡単な食べ物（インスタント味噌汁、カロリーメイトなど）





現地での活動

記録・撮影



- ▶ 現地における活動を広報できるような写真・映像を撮影。
- ▶ インターン実施中の写真・映像を撮影。
- ▶ インタビュー内容を記録し、表やケーススタディにまとめる。





【ティラリ農園】家庭聞き取り調査（ケーススタディ原案）

調査日：2020 年 3 月 3 日（火）

調査対象：アフタースクールに来ていた児童 8 名の家庭

居住地域：学校から紅茶工場周辺にかけての一带

1 Rathakrisnan 家

1.1 家族構成

父（32）：農園労働者

母（28）：農園労働者

長男（8）：ティラリの小学校

次男（1）

1.2 収入（月）

20,000 ルピー

1.3 家屋の状況

ラインハウス内の 7 畳ほどの部屋に通され、同じような部屋が全部で 3 部屋あるとのこと。そこに上記の 4 名プラス弟家族 3 名の 7 名で生活する。

1.4 学校・教育体制について

問題はないと思うが、都市部と農園の学校ではレベルに違いがあると思う。

1.5 家庭での子供の様子

14:00 にアフタースクールが終わるが、すぐに 15:00-18:00 までイブニングクラスがある。家に帰ってきてからは学校の課題をして、少しの時間だけテレビを見る。

1.6 子供の将来について

もっと高いレベルでの教育を受けさせたいが、今の収入では難しい。

1.7 日々の暮らしについて

とにかく何をするにも収入が足りない。野菜を育てるための畑を持っているが、それを維持するのも今の収入では大変なこと。



【インジェストリ農園】家庭聞き取り調査（ケーススタディ原案）1 日目

調査日：2020 年 3 月 4 日（水）

調査対象：アフタースクールに来ていた児童 4 名の家庭

居住地域：学校から徒歩 5 分ほどの一戸建てが点在する地域



1 S. vinotriraj 家

1.1 家族構成

父（27）：紅茶工場勤務

母（27）：オマーンで家政婦（インタビュー時には帰国）

長女（8）：インジェストリの小学校

祖父（65）

祖母（60）

1.2 収入（月）

母親が出稼ぎ時は仕送りで 35,000 ルピー

現在はもっと少なく、仕送りで家を建てたため貯蓄はない。

1.3 家屋の状況

縦長の構造で、10 畳ほどのリビングルームに加えてベッドルームが 2 つ、その奥にキッチンとトイレ兼シャワールームあり。キッチンにはガスボンベが置かれ、それで調理している模様。

1.4 学校・教育体制について

かつてに比べかなり改善された。

1.5 家庭での子供の様子

家では課題をし、イブニングクラスにも通っている。学習教科は通常の学校で行うようにあらゆる科目であり、担当する教員への謝礼として月額 300 ルピーを支払う。

1.6 子供の将来について

娘が校長になりたいと行ったのでシワさんは、まず先生にならなければ校長先生にはなれないと教えた。母親も先生になって欲しいと考えている。

1.7 日々の暮らしについて

母親は今まで 2 年間オマーンに出稼ぎに出ており、月に 35,000 ルピーを送ってきていた。そのお金で家を建てたが、それだけでは足りず、EPA（労働組合のようなもの？）からローンを借りている。このローンは、農園労働者の給料から毎月 8 % 天引きされてプールされているお金で賄われており、60 歳の定年時には全額返金される。畑を持っているが父親は仕事で手入れする時間がないので父の弟が使っている。生活において特に問題はない。

ワークショップ

子どもたちに様々な国について紹介

- ① スリランカの紅茶が輸出される国
- ② スリランカ周辺のアジア諸国

その国について、地図や写真などを見せながら簡単な説明



説明したことに関する〇×クイズ



正解した子には景品(シール)



次の国へ



インタビュー



保護者インタビュー



生徒インタビュー

校長インタビュー



団体インタビュー



現地での生活

《食事》

- ・基本的にカレー
- ・時々パン
- ・10時と15時のティータイム
- ・飲料水は3日に一度購入

《住居》2/28~3/14

- ・ホームステイ
 - ・3食食事つき
 - ・洋式トイレ
 - ・シャワー
- (トイレ・シャワー・洗面台は一室)
洗濯：二日に一回 (手洗い)





感想・学んだこと